

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
<b>Q 建築物の環境品質</b>								<b>2.9</b>
<b>Q1 室内環境</b>			<b>0.40</b>		-			<b>3.2</b>
<b>1 音環境</b>		<b>2.9</b>	0.15	<b>2.9</b>	1.00			<b>2.9</b>
1.1 騒音		3.0	0.40	3.0	0.40			
1.2 遮音		<b>3.8</b>	0.40	<b>3.8</b>	0.40			
1 開口部遮音性能	遮音性能T2	5.0	0.40	5.0	0.30			
2 界壁遮音性能		3.0	0.60	3.0	0.30			
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)	LL=45	-	-	4.0	0.20			
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		-	-	3.0	0.20			
1.3 吸音		<b>1.0</b>	0.20	<b>1.0</b>	0.20			
<b>2 温熱環境</b>		<b>2.6</b>	0.35	<b>3.0</b>	1.00			<b>2.8</b>
2.1 室温制御		<b>3.0</b>	0.50	<b>3.0</b>	1.00			
1 室温		3.0	0.38	-	-			
2 外皮性能		3.0	0.25	3.0	1.00			
3 ゾーン別制御性		3.0	0.38	-	-			
2.2 湿度制御		<b>1.0</b>	0.20	-	-			
2.3 空調方式		<b>3.0</b>	0.30	-	-			
<b>3 光・視環境</b>		<b>2.3</b>	0.25	<b>4.1</b>	1.00			<b>3.5</b>
3.1 昼光利用		<b>1.8</b>	0.30	<b>4.2</b>	0.50			
1 昼光率	住居部:3.6	1.0	0.60	5.0	0.60			
2 方位別開口		-	-	-	-			
3 昼光利用設備		3.0	0.40	3.0	0.40			
3.2 グレア対策		<b>2.0</b>	0.30	<b>4.0</b>	0.50			
1 昼光制御	住居部:カーテンと庇で昼光を制御	2.0	1.00	4.0	1.00			
3.3 照度		<b>3.0</b>	0.15	-	-			
3.4 照明制御		<b>3.0</b>	0.25	-	-			
<b>4 空気環境</b>		<b>3.5</b>	0.25	<b>3.8</b>	1.00			<b>3.7</b>
4.1 発生源対策		<b>4.0</b>	0.50	<b>4.0</b>	0.63			
1 化学汚染物質	全面的にF 使用	4.0	1.00	4.0	1.00			
2 アスベスト対策		-	-	-	-			
4.2 換気		<b>3.0</b>	0.30	<b>3.6</b>	0.38			
1 換気量		3.0	0.50	3.0	0.33			
2 自然換気性能	居室面積の1/10以上の自然換気有効開口面積を確保	-	-	5.0	0.33			
3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.50	3.0	0.33			
4.3 運用管理		<b>3.0</b>	0.20	-	-			
1 CO <sub>2</sub> の監視		-	-	-	-			
2 喫煙の制御		3.0	1.00	-	-			
<b>Q2 サービス性能</b>		-	<b>0.30</b>	-	-			<b>3.0</b>
<b>1 機能性</b>		<b>2.4</b>	0.40	<b>3.8</b>	1.00			<b>3.3</b>
1.1 機能性・使いやすさ		<b>3.0</b>	0.40	<b>5.0</b>	0.60			
1 広さ・収納性	個室=19.8㎡以上、多床室=44.87㎡以上	-	-	5.0	1.00			
2 高度情報通信設備対応		-	-	-	-			
3 バリアフリー計画		3.0	1.00	-	-			
1.2 心理性・快適性		<b>1.0</b>	0.30	<b>2.0</b>	0.40			
1 広さ感・景観		-	-	3.0	0.50			
2 リフレッシュスペース		-	-	-	-			
3 内装計画		1.0	1.00	1.0	0.50			
1.3 維持管理		<b>3.0</b>	0.30	-	-			
1 維持管理に配慮した設計		3.0	0.50	-	-			
2 維持管理用機能の確保		3.0	0.50	-	-			
3 衛生管理業務		-	-	-	-			
<b>2 耐用性・信頼性</b>		<b>3.2</b>	0.30	-	-			<b>3.2</b>
2.1 耐震・免震		<b>3.0</b>	0.50	-	-			
1 耐震性		3.0	0.80	-	-			
2 免震・制振性能		3.0	0.20	-	-			
2.2 部品・部材の耐用年数		<b>3.8</b>	0.30	-	-			
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.20	-	-			
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔	磁器質タイル貼り40年	5.0	0.20	-	-			
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔	床:フローリング20年,壁:ビニルクロス20年,天井:ビニルクロス30年	5.0	0.10	-	-			
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.10	-	-			
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	主要用途上位3種に耐用年数40年以上の配管を使用	5.0	0.20	-	-			
6 主要設備機器の更新必要間隔		2.0	0.20	-	-			

2.4 信頼性		2.8	0.20	-	-	-
1 空調・換気設備		3.0	0.20	-	-	-
2 給排水・衛生設備		3.0	0.20	-	-	-
3 電気設備		3.0	0.20	-	-	-
4 機械・配管支持方法		3.0	0.20	-	-	-
5 通信・情報設備		2.0	0.20	-	-	-
3 対応性・更新性		2.7	0.30	2.4	1.00	2.5
3.1 空間のゆとり		2.2	0.30	1.8	0.50	-
1 階高のゆとり		1.0	0.60	1.0	0.60	-
2 空間の形状・自由さ	壁長さ比率 共用部:0.25、住居部:0.42	4.0	0.40	3.0	0.40	-
3.2 荷重のゆとり		3.0	0.30	3.0	0.50	-
3.3 設備の更新性		3.0	0.40	-	-	-
1 空調配管の更新性		3.0	0.20	-	-	-
2 給排水管の更新性		3.0	0.20	-	-	-
3 電気配線の更新性		3.0	0.10	-	-	-
4 通信配線の更新性		3.0	0.10	-	-	-
5 設備機器の更新性		3.0	0.20	-	-	-
6 バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-	-
Q3 室外環境(敷地内)		-	0.30	-	-	2.4
1 生物環境の保全と創出		2.0	0.30	-	-	2.0
2 まちなみ・景観への配慮		2.0	0.40	-	-	2.0
3 地域性・アメニティへの配慮		3.5	0.30	-	-	3.5
3.1 地域性への配慮、快適性の向上		3.0	0.50	-	-	-
3.2 敷地内温熱環境の向上	屋上緑化、中高木による温熱環境の向上	4.0	0.50	-	-	-
LR 建築物の環境負荷低減性		-	-	-	-	3.7
LR1 エネルギー		-	0.40	-	-	4.3
1 建物外皮の熱負荷抑制	BPI=0.818の外皮性能	4.8	0.20	-	-	4.8
2 自然エネルギー利用		3.0	0.10	-	-	3.0
3 設備システムの高効率化	BEI 非住宅 0.69	5.0	0.50	-	-	5.0
集合住宅以外の評価(3a.3b)	LED照明設備、潜熱回収型給湯器の採用	5.0	1.00	-	-	-
集合住宅の評価(3c)		-	-	-	-	-
4 効率的運用		3.0	0.20	-	-	3.0
集合住宅以外の評価		3.0	1.00	-	-	-
4.1 モニタリング		3.0	0.50	-	-	-
4.2 運用管理体制		3.0	0.50	-	-	-
集合住宅の評価		-	-	-	-	-
4.1 モニタリング		3.0	-	-	-	-
4.2 運用管理体制		-	-	-	-	-
LR2 資源・マテリアル		-	0.30	-	-	3.4
1 水資源保護		3.4	0.20	-	-	3.4
1.1 節水	節水型水栓、節水型トイレの使用	4.0	0.40	-	-	-
1.2 雨水利用・雑排水等の利用		3.0	0.60	-	-	-
1 雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70	-	-	-
2 雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30	-	-	-
2 非再生性資源の使用量削減		3.3	0.60	-	-	3.3
2.1 材料使用量の削減		2.0	0.10	-	-	-
2.2 既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.20	-	-	-
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	3.0	0.20	-	-	-
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	集成材、インターロッキング(グリーン購入特定調達品目)	4.0	0.20	-	-	-
2.5 持続可能な森林から産出された木材		3.0	0.10	-	-	-
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	躯体と仕上材が容易に分別できる	4.0	0.20	-	-	-
3 汚染物質含有材料の使用回避		3.7	0.20	-	-	3.7
3.1 有害物質を含まない材料の使用		3.0	0.30	-	-	-
3.2 フロン・ハロンの回避		4.0	0.70	-	-	-
1 消火剤		-	-	-	-	-
2 発泡剤(断熱材等)	ノンフロン発泡断熱材を使用	5.0	0.50	-	-	-
3 冷媒		3.0	0.50	-	-	-
LR3 敷地外環境		-	0.30	-	-	3.3
1 地球温暖化への配慮	LCCO2排出率を75%に抑えている	4.0	0.33	-	-	4.0
2 地域環境への配慮		2.9	0.33	-	-	2.9
2.1 大気汚染防止		3.0	0.25	-	-	-
2.2 温熱環境悪化の改善		3.0	0.50	-	-	-
2.3 地域インフラへの負荷抑制		2.7	0.25	-	-	-
1 雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-	-
2 汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	-
3 交通負荷抑制		3.0	0.25	-	-	-
4 廃棄物処理負荷抑制		2.0	0.25	-	-	-
3 周辺環境への配慮		3.0	0.33	-	-	3.0
3.1 騒音・振動・悪臭の防止		3.0	0.40	-	-	-
1 騒音		3.0	1.00	-	-	-
2 振動		-	-	-	-	-
3 悪臭		-	-	-	-	-
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制		3.0	0.40	-	-	-
1 風害の抑制		3.0	0.70	-	-	-
2 砂塵の抑制		-	-	-	-	-
3 日照阻害の抑制		3.0	0.30	-	-	-
3.3 光害の抑制		3.0	0.20	-	-	-
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		3.0	0.70	-	-	-
2 昼光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	-